

<後援会会長あいさつ>

今、求められるのは**即戦力**。

俵田ゆうじ君は平成15年に山口市議会議員に初当選以来、数々の要職を務め、議長職を最後に今年3月、次のステージを目指すため、議員辞職いたしました。山口市議会の中心的役割を担うかたわら、高齢者や子ども達を始め地域住民の話丁寧聞き、小さいことでもまず行動、実行する姿勢は初当選以来少しも変わっておりません。

県政の中心であり歴史と新しさが交わる県都山口において、「温故知新」という普遍の政治理念を掲げた彼の政治活動の場をこの際、もっと広く大きく、より深く進めてやりたいと願うものです。

43歳という充実した人生のこの時期、彼には山口のためにまだまだ働いてもらわねばならず、次代のためになくはない人物だと確信しています。

俵田ゆうじ君への格別なるご支援をお願い申し上げます。

俵田ゆうじ後援会 会長 富田潤二

県央部の政治に**安定**と**発展**、そして**夢**を...

私は多くの先輩が脈々と築かれてきた山口県央部発展の礎をより強固なものとし、国や県との政治的結束力(パイプ)を安倍総理、村岡知事の今こそ強靱にしなくては、山口市、ひいては山口県の未来はない、とまで思いを強くいたしております。

私は政治の安定なくして、山口市政の健全なる発展はないと考えています。大きな夢に向かって前進することは大切なことですが、出来ることから確実に、夢を追って政策を推し進める先輩方と共に、ふるさと山口のために粉骨砕身、働きたいと考えております。

私は幸いにして、へこたれない雑草の強さを祖父と父から、健康な体を母から授かりました。また、心から尊敬する政治の師からは、人の為にその身を尽くす誠を受け継ぎました。皆様から受ける負託を倍にも五倍にもして我がふるさと山口へのご恩返しをさせていただきますこととお誓い申し上げます。

平成27年3月

俵田 祐児



たわら

だ

山口市議会議員(4期)・山口市議会議長 歴任

俵田ゆうじ

<プロフィール>

- 昭和46年 山口市大殿生れ(43才)
- 大殿小・野田学園中高 卒
- 衆議院議員 吹田 愷 秘書
- 自民党山口支部 幹事長

俵田ゆうじ「3つの決意と5つの約束」

- 決意 1.** 豊かな発想力で政策を立案し、政治の実行力を発揮する。
- 決意 2.** 県中枢・国との強いパイプ役として、市民の黒子となる。
- 決意 3.** 声なき声を聴く、止むに止まれぬ大和魂を誠の心をもって貫く。

5つの約束

子育て しやすい 『地域づくり』

妊娠・出産、子育て、子どもの学習環境の整備まで、切れ目のない支援を行うことで、若い世代が希望を叶え、安心して子育てができる『地域づくり』を進めます。

中山間地域における急激な人口減少を前提とした「守りの地域づくり」だけではなく、多様な地域資源を活かした農林水産業の振興や地域おこし協力隊による移住や定住促進等による「攻めの地域づくり」にチャレンジします。

また、中山間地域に住む人たちが生き生きと暮らせるよう、持続可能な地域社会の形成を図ります。

魅力ある 中山間の 『地域づくり』

県央の 中核都市に ふさわしい 『地域づくり』

山口市の魅力である「ひと」、「まち」、「歴史と文化」、「自然」を活かし、中心市街地の活性化や新山口駅を核とした産業交流拠点の整備、互いに連携するネットワーク機能の強化など、それぞれの地域の特性・役割に応じた県央の中核都市にふさわしい『まちづくり』を進めます。

県民誰もが安全で安心して暮らせる生活は、県民生活の基本であるとともに、県民皆様の願いでもあります。

近年多発する自然災害等に備え県民の生命・財産を守る防災・減災対策の充実、生涯を通じて健康で安心して暮らせる医療・介護体制の整備、次代を担う子どもたちが安心して学べる教育環境の整備、高齢者等を犯罪・事故から守る防犯・交通安全対策の推進など、県民皆様のくらしの安心・安全をしっかりと支えていきます。

安心・安全の 『地域づくり』

観光と交流の 『地域づくり』

宿泊観光の拠点となる湯田温泉をはじめとする温泉街の魅力のさらなる向上、明治維新や大内文化などの歴史観光資源を活かしたまちづくり、観光客のニーズを踏まえた回遊性のある観光コースづくりなどを通じて、宿泊観光の拡大を進めます。

また、宿泊観光と同様に大きな集客と経済効果が期待できる企業や団体の会議や研修、全国的なスポーツ大会やイベント等の誘致にも取り組みます。

